
2021－2026

交野市生涯学習基本計画

中間見直し



みんなが学び輝くまち かたの



令和4年3月
交野市教育委員会

は じ め に

本市では、平成 29 年 3 月に“みんなが学び輝くまち かの”を基本理念に掲げ、「交野市生涯学習基本計画」を策定しました。そして、生涯学習を通じて、地域の絆づくりや健康づくりが広がり、市民が共に学び活動を支え合うことにより、輝き続けるまちづくりの大きな力につながるよう、基本計画を推進して参りました。

また、国においては平成 30 年 6 月に「第 3 期教育振興基本計画」が策定され、「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」及び「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」が掲げられました。

併せて、同年 12 月の中央教育審議会答申では、『社会教育』を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり」の重要性が示されました。

一方、少子高齢化による人口減少や温暖化等の環境変化による自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症による「コロナ禍」と呼ばれる社会情勢などが、市民生活に影響を与えています。

さらには、市民が集う地域活動や生涯学習活動が減少するなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中、本市は令和 3 年に市制施行 50 周年を迎えました。次の 50 年、持続可能なまちとして発展するには、生涯学習の役割も大きいと考えます。幅広い年代の人々が、縦にも横にもつながって活動する中で、交野の歴史や自然の再発見があったり、あたたかな「こころ」が育まれたり、心身の健康寿命が延びたり、交野の魅力が増大します。

同時に、高齢化社会に対応したスポーツ・文化の担い手づくりや ICT や DX といった技術革命を活用した学びの機会の創造など、これからの社会にあった生涯学習として変化させる必要もあると考えます。

これらを踏まえ、基本計画の中間見直しを行うものです。そして、これまで進めてきた基本計画に掲げる取り組みについて、修正や発展、継承を行うなど、今後 5 年間の本市の生涯学習施策を計画的に推進して参ります。

結びに、本計画の中間見直しにあたり、多大なるご尽力を賜りました、交野市生涯学習基本計画推進委員会の皆様をはじめ、本見直しに係るアンケートやヒヤリング調査を通じ、貴重なご意見やご提言をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

令和 4 年 3 月

交野市教育委員会

平成 29 年度に策定した交野市生涯学習基本計画を基に、追加・修正した箇所のみを抜粋しています。

第 1 章 計画の策定

6. 計画の策定体制

第 2 章 交野市の生涯学習を取り巻く現状と課題

3. 市の施設や活動団体の状況

(2) 生涯学習に活用している主な公共施設の利用状況

(3) 主な社会教育関係団体の加盟団体数及び会員数の推移

4. 市民意識調査結果からみる生涯学習・スポーツの状況

(1) 交野市への意識

(2) 生涯学習活動の状況

5. 団体アンケート結果からみる生涯学習・スポーツの状況

(1) 団体の概況

(2) 活動における現状・課題

7. 課題のまとめ

(1) 誰もが希望と安心をもって学べる環境の創出

(2) 情（こころ）を育み、確かな学びの実感

(3) 誰もが集い、地域のみんなで子どもたちを支える学校の実現

(4) 自然と歴史を通じたまちの発見

(5) 生涯を通じたスポーツ・文化の振興

(6) 生涯を通じたスポーツの振興

第 3 章 計画の基本的な考え方 計画の追加・修正なし

第 4 章 計画の推進施策

基本方針 1 ～ 6

資 料 交野市生涯学習基本計画推進委員会委員簿

交野市文化連盟・交野市体育協会団体リスト

生涯学習基本構想にあてはめた現在の主な事業（基本目標別）

第1章 計画の策定

6. 計画の策定体制

(1) 交野市生涯学習基本計画推進委員会

市民や有識者、関係団体、関係機関などで組織された委員会であり、本計画についての意見交換及び審議を行いました。

(2) 庁内検討会議

庁内関係課の代表を構成員として設置した検討会議であり、計画に結びついている事業について整理し、本計画の見直しを行いました。

■庁内の生涯学習関連事業の把握概要

調査対象	: 関係各課(教育総務室、まなび舎整備課、社会教育課、青少年育成課、図書館、財産管理課、地域振興課、危機管理室、人権と暮らしの相談課、財務課、農政課、子育て支援課、こども園課、児童発達支援センター、健康増進課、生活福祉課、障がい福祉課、福祉総務課、高齢介護課、環境衛生課、環境総務課、環境事業課、都市計画課、道路河川課、緑地公園課)
調査期間	: 令和3年8月24日～9月10日
調査方法	: 現状 事業の廃止や新規事業の見直し

(3) 市民アンケート調査の実施

アンケート調査により生涯学習活動の参加理由や生涯学習関連施設の利用状況などの現状、市民の意識や今後のニーズなどを調査しました。

■アンケート調査概要

調査地域	: 市内全域
調査対象者	: 市内在住の満16歳以上の市民
抽出方法	: 住民基本台帳より、2,000人を無作為抽出(ただし、地域・年齢は考慮する)
調査期間	: 令和3年10月～11月中
調査方法	: 郵送による配布・回収
回収数及び回収率	: 891人/44.5%

(4) 団体アンケートの実施

地域で活動している団体から活動状況を把握するため、市内生涯学習活動関係団体の活動状況や課題、団体の意識や今後のニーズなどを調査しました。

■アンケート調査概要

調査対象者	: 市内生涯学習活動関係団体(アンケート/96団体)	※()の数値は団体数 資料: 社会教育課調べ
調査期間	: 令和3年8～9月中	
調査方法	: アンケート調査票の配布・回収による定量調査	
回収数及び回収率	: 74団体/77.0%	

第2章 交野市の生涯学習を取り巻く現状と課題

3. 市の施設や活動団体の状況

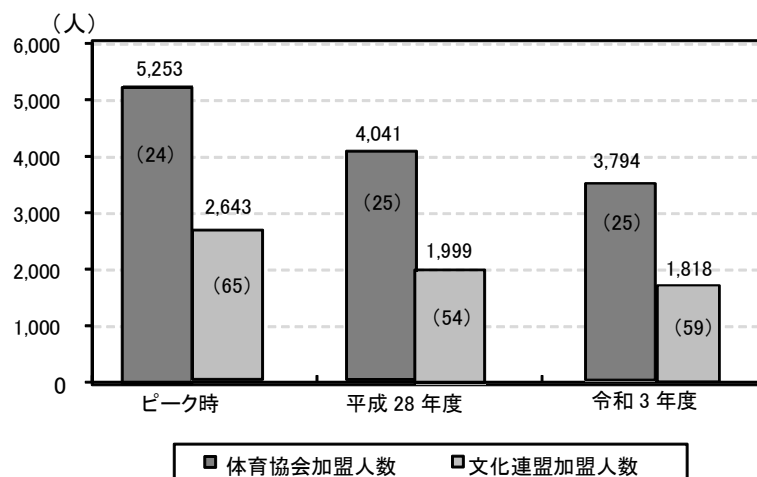
(2) 生涯学習に活用している主な公共施設

資料：社会教育課調べ

	名称		所在地	設置年度
文化・スポーツ関連施設	青年の家		私部2丁目29-1	昭和51年度
	総合体育施設(いきいきランド交野)		向井田2丁目5-1	平成9年度
	いわふね自然の森スポーツ・文化センター (星の里いわふね)		私市9丁目4-8	昭和62年度
	第1児童センター		幾野2丁目6-1	昭和57年度
	星田西体育施設		星田西3丁目28-1	平成3年度
	武道施設		私部2丁目29-3	昭和56年度
	倉治図書館		倉治6丁目9-20	平成8年度
	星田会館図書室		星田3丁目4-3	令和元年
	教育文化会館(歴史民俗資料展示室)		倉治6丁目9-21	昭和48年度
	私部公園(グラウンド・テニスコート)		私部南3丁目	昭和55年度
	倉治公園(グラウンド・テニスコート)		神宮寺2丁目	平成13年度
	名称		所在地	設置年度
その他施設	保健福祉総合センター (ゆうゆうセンター)	健康増進センター	天野が原町5丁目5-1	平成4年度
		世代間交流センター		平成6年度
		ボランティアセンター		平成4年度
		高齢者生きがい創造センター		平成4年度
	いきものふれあいセンター(いきものふれあいの里)		倉治2935-1	平成3年度

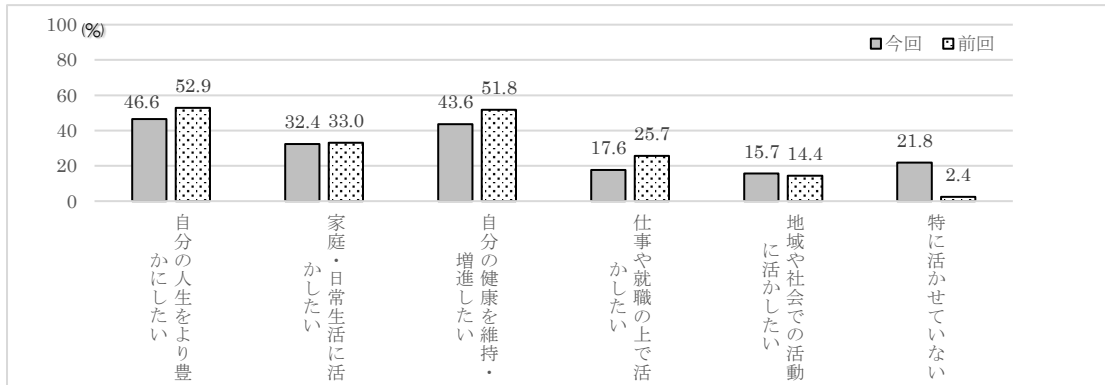
(3) 主な社会教育関係団体の加盟団体数及び会員数の推移

体育協会及び文化連盟の加盟会員数及び団体数の推移をみると、ピーク時と比較すると、年々会員数及び団体数は減少傾向にあります。



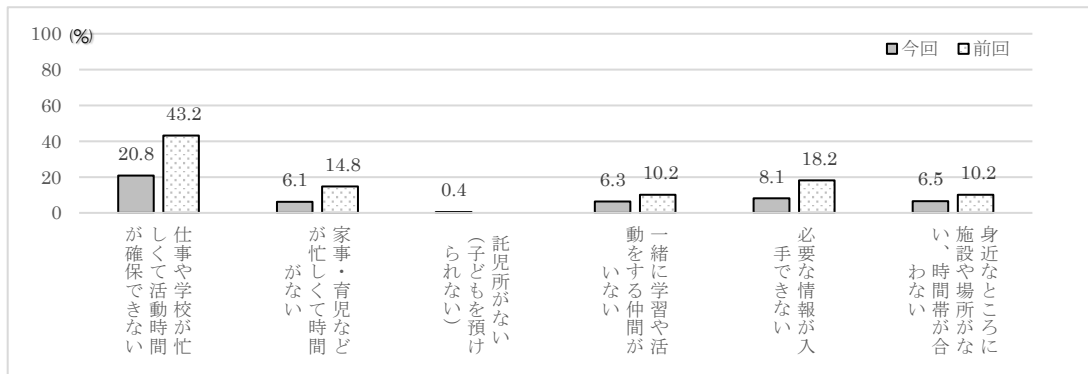
■活動を通じて身に付けた知識や技能などをどのように活かしているか(前回:平成28年度、今回:令和3年度)

身に付けた知識・技能の活かし方についてみると、「自分の人生をより豊かにしたい」が46.6%と最も多く、次いで「自分の健康を維持・増進したい」が43.6%、「家庭・日常生活に活かしたい」が32.4%となっています。(複数回答)



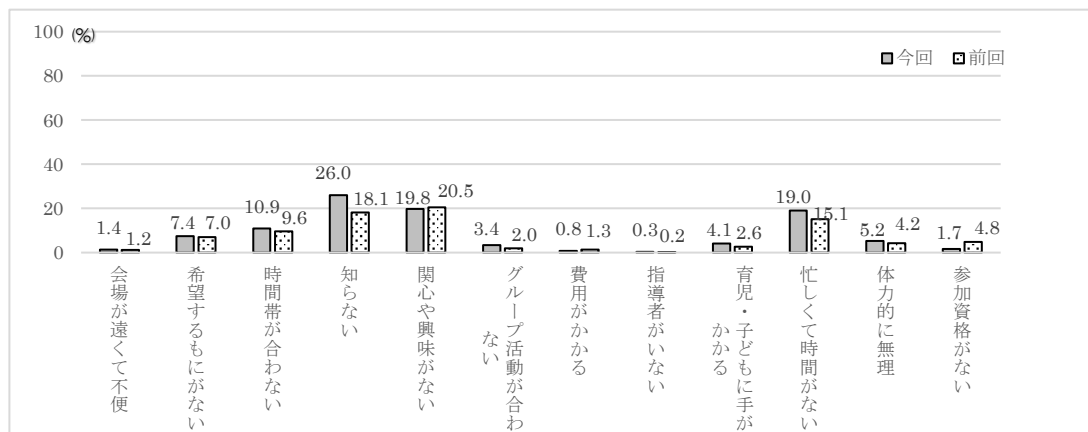
●生涯学習活動を行っていない理由(前回:平成28年度、今回:令和3年度)(複数回答)

生涯学習活動を行っていない理由についてみると、「仕事や学校が忙しくて活動時間が確保できない」が20.8%と最も多く、次いで「必要な情報が入手できない」が8.1%、「身近なところに施設や場所がない、時間帯が合わない」が6.5%となっています。



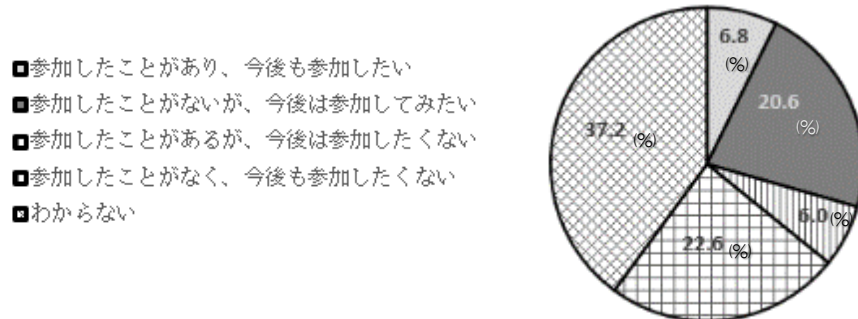
■市内で行われているサークル活動や、地域で行っている会合や行事に参加したことがない理由(前回:平成28年度・今回:令和3年度)

地域・ボランティア・老人クラブ活動などに参加したことがないについてみると、「知らない」が26.0%と最も多く、次いで「関心や興味がない」が19.8%、「忙しくて時間がない」が19.0%となっています。(複数回答)



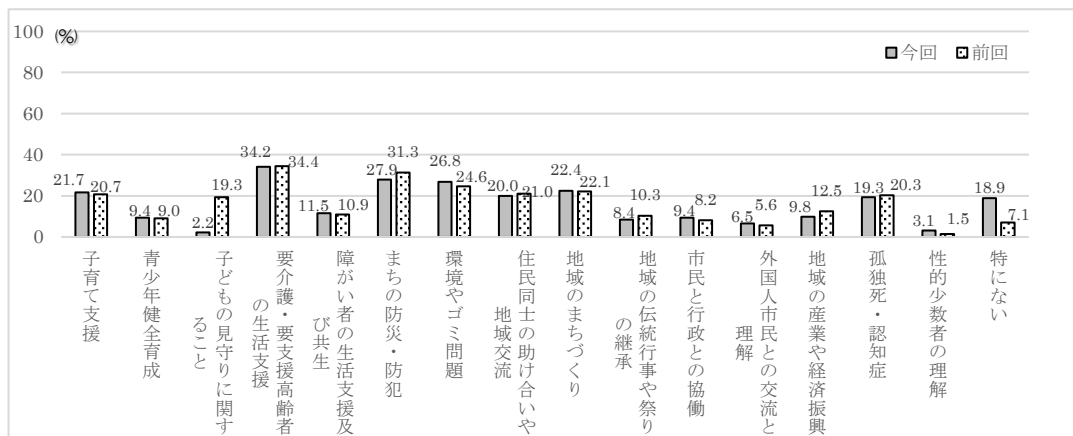
●学校を支援する活動への参加意思

学校を支援する活動への参加意思についてみると、「参加したことがなく、今後も参加したくない」が22.6%、「参加したことがないが、今後は参加してみたい」が20.6%、「参加したことがあり、今後は参加したい」が6.8%、「参加したことがあるが、今後は参加したくない」が6.0%となっています。無回答 6.8%（一つに〇）



■特に関心のある地域課題に関するテーマ(前回:平成28年度、今回:令和3年度)

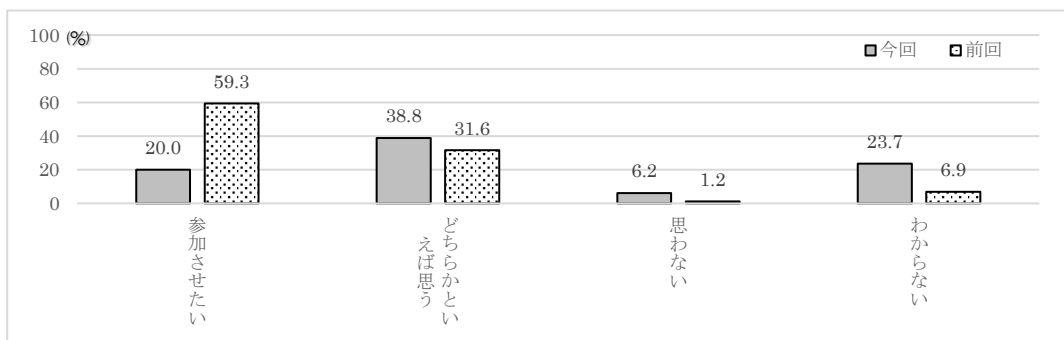
特に関心のあるテーマについてみると、「要支援者・要支援高齢者の生活支援」が34.2%と最も多く、次いで「まちの防災・防犯」が27.9%、「環境やゴミ問題」が26.8%となっています。（複数回答）



■子どもたちを地域におけるさまざまな活動に参加させたいと思うか

また、【参加させたい】または【どちらかといえば思う】に回答した方に子どもたちが体験活動や交流機会などへ参加してほしい内容(前回:平成28年度、今回:令和3年度)

子どもたちの地域参加が有意義かどうかについてみると、「どちらかといえば思う」が38.8%と最も多く、次いで「わからない」が23.7%、「参加させたい」が20.0%となっています。無回答 11.3%（一つに〇）



5. 団体アンケート結果からみる生涯学習・スポーツの状況

以下の調査結果による分析を行いました。

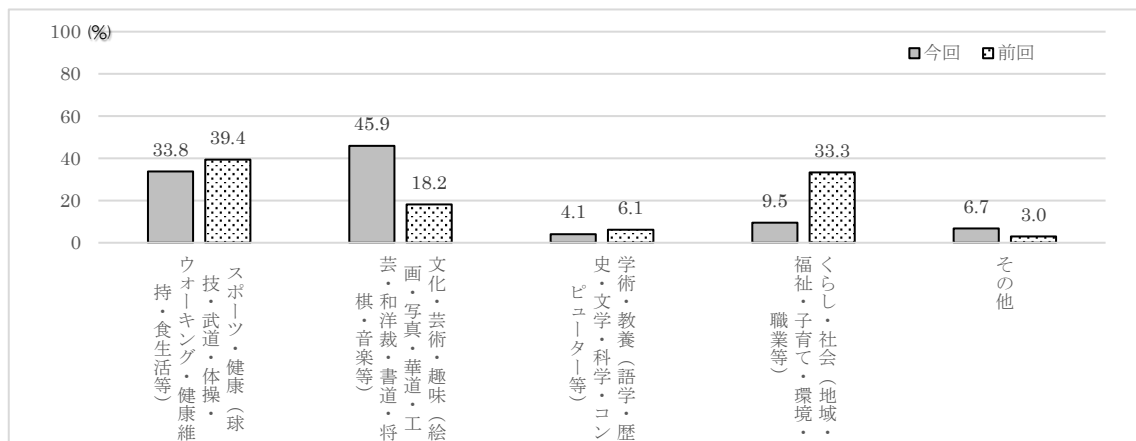
■アンケート調査概要

調査対象者	: 市内生涯学習活動関係団体(アンケート/96 団体)
調査期間	: 令和3年8月～9月
調査方法	: アンケート調査票の配布・回収による定量調査
回収数及び回収率	: 74 団体/77.0%

(1) 団体の概況

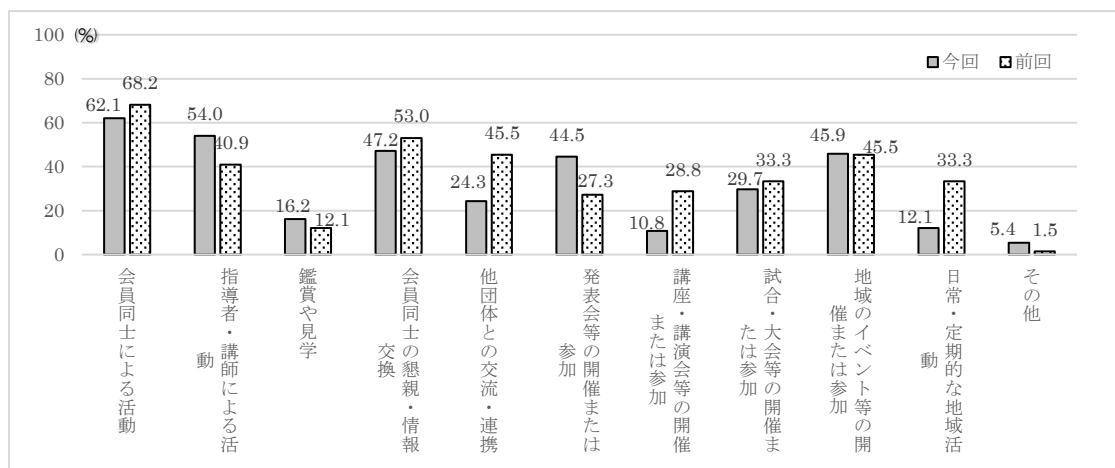
■活動分野

活動分野においては、「文化・芸術・趣味」(45.9%)、「スポーツ・健康」(33.8%)、「くらし・社会」(9.5%)、「学術・教養」(4.1%)、「その他」(6.7%)となっています。(つに0)



■活動形態

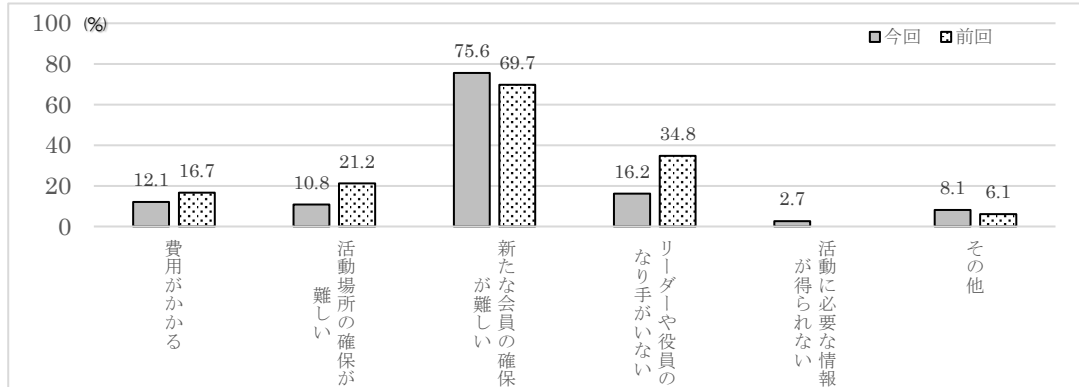
活動形態においては、「会員同士による活動」が62.1%と最も多く、次いで「指導者・講師による活動」が54.0%、「会員同士の懇親・情報交換」が47.2%、「地域のイベント等の開催または参加」が45.9%となっています。(複数回答)



(2) 活動における現状・課題

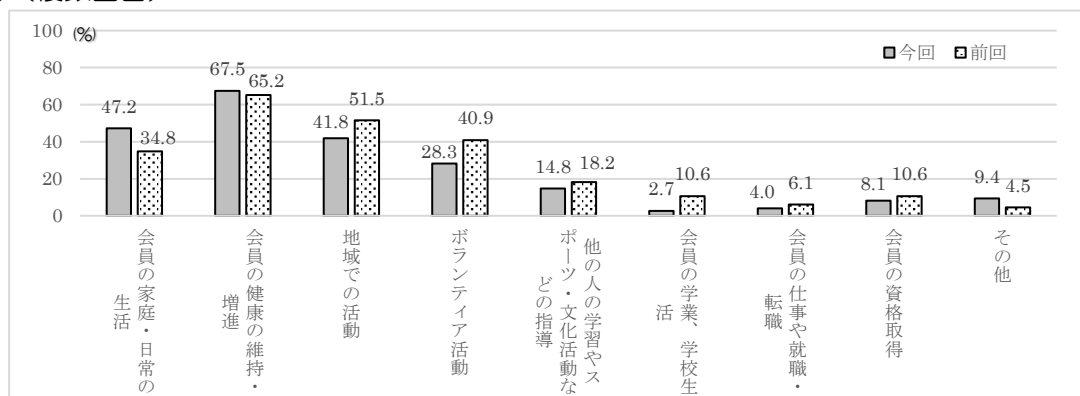
■活動全般における課題

活動全般における課題については、「新たな会員の確保が難しい」が75.6%と最も多く、次いで「リーダーや役員のなり手がいない」が16.2%、「費用がかかる」が12.1%となっています。（複数回答）



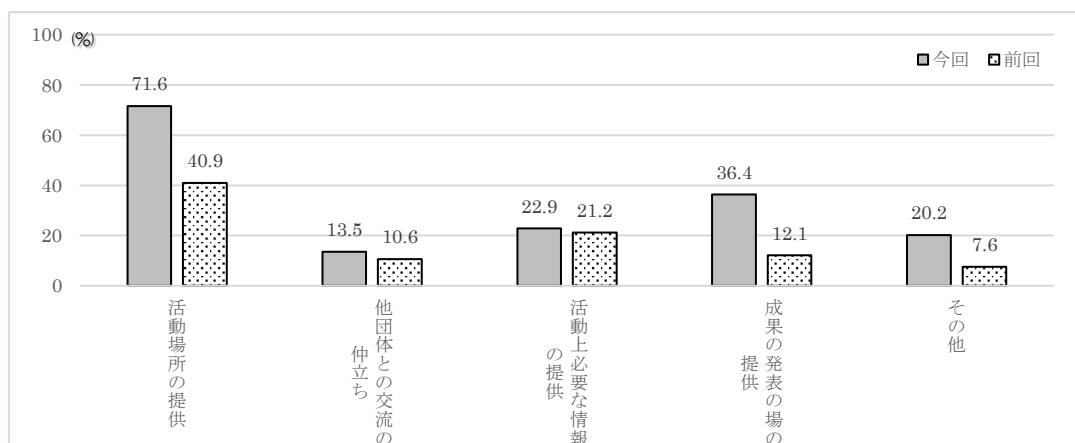
■活動成果を活かしているか

活動の成果を活かしているかについては、「会員の健康の維持・増進」が67.5%と最も多く、次いで「会員の家庭・日常生活」が47.2%、「地域での活動」が41.8%となっています。（複数回答）



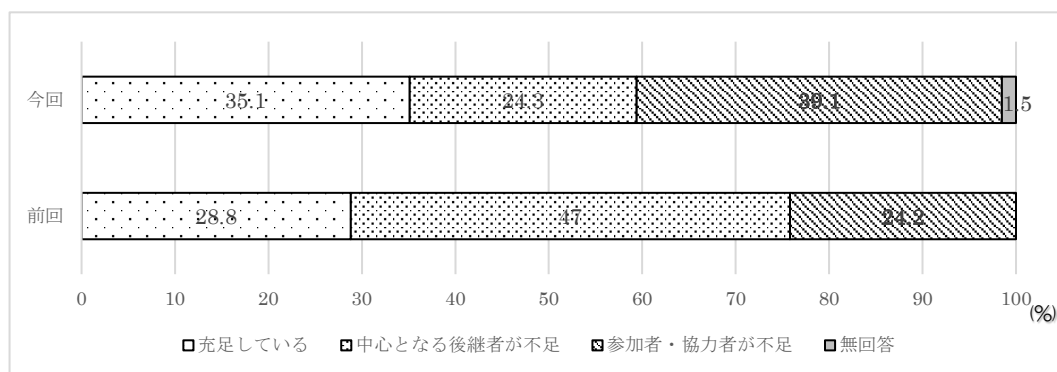
■活動をしていく上で市に望むこと

活動をしていく上で市に望むことについては、「活動場所の提供」が71.6%と最も多く、次いで「成果の発表の場の提供」が36.4%となっています。（複数回答）



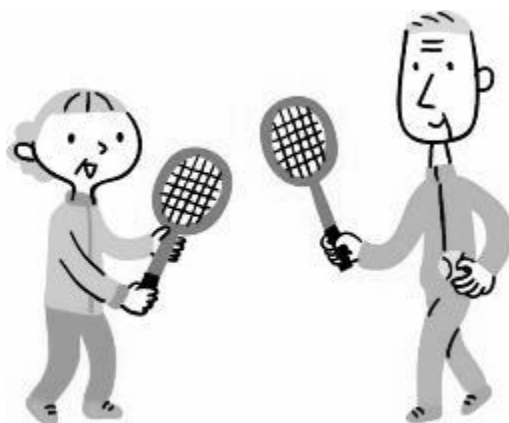
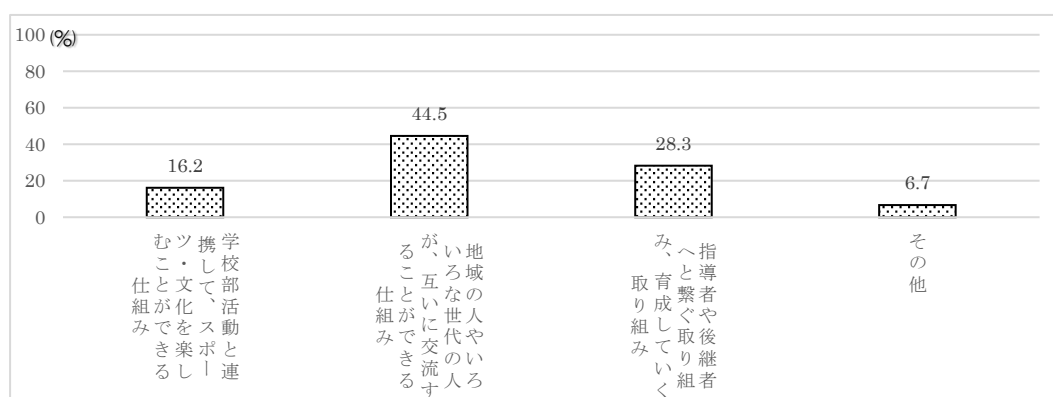
■人材の状況

活動をしていく上で貴団体の人材については、「充実している」が35.1%と充実している団体はあるものの「中心となる後継者が不足」が24.3%、「参加者・協力者が不足」39.1%と合わせると63.4%と高い数値となっています。（一つに〇）



■将来へ繋げる仕組みや取り組み

高齢化が進み会員が増えない団体が多く、活動を将来へ継承するために、どのような仕組みや取り組みがあれば良いと思うか新たに追加し、「地域の人やいろいろな世代の人が、互いに交流することができる仕組み」が44.5%と最も多い数値となっています。無回答 4.3%（一つに〇）



7. 課題のまとめ

「アンケート調査結果などの現状」については、

- ★（黒星）は市民アンケート調査結果を示し、
- ☆（白星）は団体アンケート調査結果を示します。

（1）誰もが希望と安心をもって学べる環境の創出

アンケート調査結果などの現状

- ★「過去1年間の生涯学習活動の実施状況」では、『生涯学習をしたことがない』（37.3%）との回答が平成28年度（27.9%）と比べると増えており、市民が生涯学習に取り組めていない状況がわかる
- ★「生涯学習を行っていない理由」では、『仕事が忙しくて時間が確保できない』（20.8%）、『必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない』（8.1%）との回答が多く、要因として時間的制約やきっかけ、情報が入手できないことが上位を占める
- ★「身に付けた知識・技能の活かし方」では、『地域や社会での活動に活かしたい』（15.7%）との回答が、他の項目と比べて少ない
- ☆「活動全般における課題」では、『新たな会員の確保が難しい』（75.6%）との回答が上位を占める
- ☆「活動をしていく上で市に望むこと」では、『活動場所の提供』（71.6%）、『成果の発表の場の提供』（36.4%）といった活動場所などに関する項目が上位を占める
- ★自由意見では、SNSや動画サイトなどで好きな情報にアクセスする事が出来る時代。生涯学習したいと思えば好きなだけやれる時代であるという意見やLINEに情報が届くようにしてほしいという意見が多い

課題

- 今後更に「学びたい」と願う市民の誰もが学習に取り組み、始めることができるよう、・時間・場所・費用などに配慮した学習機会の提供や、きっかけとなるような気軽に体験できるプログラムの検討、学習活動につながる情報提供・相談体制の充実など、誰もが安心して学ぶことができる環境整備
- 生涯を通じて学び続けることができるよう、行政だけではなく大学・企業・広域などの様々な主体と連携をはかりながら、ライフステージや立場・状況など、市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実

(2) 情（こころ）を育み、確かな学びの実感

アンケート調査結果などの現状

- ★「特に関心のある地域課題に関するテーマ」では、『要介護・要支援高齢者の生活支援』（34.2%）、『まちの防災・防犯』（27.9%）、『環境やゴミ問題』（26.8%）との回答が上位を占める
- ★「地域・ボランティア・老人クラブ活動などに参加しない理由」では、『知らない』（26.0%）、『関心や興味がない』（19.8%）との回答が占める

課題

- 福祉、人権、環境問題などの多様な現代社会の課題を知り、身近な暮らしと結び付け、市民の主体的な行動を生み出すことができるよう、現代社会の課題に即した学習機会の充実
- ボランティア団体との連携を図ることで多様な生涯学習の場を提供するとともに、体験活動や講座などの学習機会を充実

(3) 誰もが集い、地域みんなで子どもたちを支える学校の実現

アンケート調査結果などの現状

- ★「学校を支援する活動」では、『今後も参加したい』（6.8%）との回答が大幅に少ない。高齢層において活動意欲のある人が少ないことがうかがえる
- ★「子どもたちの地域参加が有意義かどうか」では、『有意義』との回答が半数以上を占める
- ★「子どもたちが体験活動や交流機会などへ参加してほしい内容」では『イベント参加』（29.0%）、『ボランティア活動』（24.5%）、『こども会』（19.7%）との回答となっている
- ☆「将来へ繋げる仕組みや取り組み」では、『地域の人やいろいろな世代の人が、互いに交流することができる仕組み』（44.5%）との回答が多い

課題

- 特に働いている世代を含む、誰もが参加しやすい交流機会の充実をはかり、生涯学習やスポーツを通じた人や地域とのつながりや、仲間づくりの推進
- 地域の人材を活用した学習機会の充実など、地域と学校、さらには就学前の教育・保育との連携・協働により、地域全体で子どもたちを育む意識の醸成、仕組みづくりの推進

(4) 自然と歴史を通じたまちの発見

アンケート調査結果などの現状

- ★「交野の自然や歴史、文化資源」では、『自然を守り、環境の良い、住みやすいまち』(83.0%)と最も回答が多く、『スポーツ、文化、レクリエーション活動のさかんなまち』(24.5%)との回答が少ない

課題

- 交野市に「住みたい」「住み続けたい」という意識を醸成し、主体的にまちづくりに取り組む担い手を育成するためにも、自然、歴史・文化などの市の地域資源を活かした学習機会など、郷土の愛着・誇りを育む学習機会の充実
- 今後特に、文化の振興を担う人材の育成につなげるためにも、子どもたちへの自然を活用した教育や、文化・芸術に親しむ機会の充実を通じて、子どもの豊かな感性や情操の育成

(5) 生涯を通じたスポーツ・文化の振興

アンケート調査結果などの現状

- ★「過去1年間の生涯学習活動の実施状況」では、『文化活動』(16.1%)、『情報端末』(14.5%)との回答が多い
- ☆「活動全般における課題」では、『新たな会員の確保が難しい』(75.6%)、『リーダーや役員のなり手がいない』(16.2%)との回答が多く、人材面の課題が上位を占める
- ☆「活動成果を活かしているか」では、『会員の健康の維持・増進に活かしている』(67.5%)との回答が特に多いことから、「共に学び合う」という特性が強いことがうかがえる
- ☆「活動をしていく上で市に望むこと」では、『活動場所の提供』(71.6%)、『成果の発表の場の提供』(36.4%)といった活動場所などに関する項目が上位を占める

課題

- 文化芸術に関する鑑賞事業など、全ての市民が生涯を通して文化芸術に触れ、親しむことができる機会の充実
- 市民が主体的に文化芸術活動に取り組むことができるよう、活動の継続・活性化をはかるため、担い手の確保や活動を支援するボランティアや活動を牽引する人材の発掘、育成
- ニーズや特性を踏まえ、より多くの人に参加できる機会や場づくりとして、健康づくりに関するテーマの学習機会や交流機会の充実
- 市民一人ひとりが心も体も健康で豊かな暮らしを送ることができるよう、生涯を通じたスポーツの振興

(6) 生涯を通じたスポーツの振興

アンケート調査結果などの現状

★「過去1年間の生涯学習の実施状況」では、『健康づくり・スポーツ』（32.8%）との回答が多い。

☆平成3年以降の「体育協会会員数」は、平成12年（5,253人）をピークに減少傾向をたどっている

☆「将来へ繋げる仕組みや取り組み」では、『学校部活動と連携して、スポーツ・文化を楽しむことができる仕組み』（16.2%）との回答が少なかった。

課題

- ニーズや特性を踏まえ、より多くの人に参加できる機会や場づくりとして、健康づくりに関するテーマの学習機会や交流機会の充実
- 市民一人ひとりが心も体も健康で豊かな暮らしを送ることができるよう、生涯を通じたスポーツの振興
- 市民が主体的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、活動に必要な場所や設備への支援

交野市生涯学習基本計画

第 4 章 計画の推進施策

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載されている 2026 年から 2030 年までの国際目標です。



第4章 計画の推進施策

基本方針1

誰もが希望と安心をもって学べる環境の創出



市民が、生涯学習に「希望」と「安心」を持って取り組むことができるよう、市民のライフステージや生活環境に合わせた情報提供や相談体制を充実します。

市民が、主体的に学びの成果をまちづくりに活かすことができる仕組みづくりや、生涯学習に取り組む個人・団体の活動を支援します。また、活動のコーディネート機能や成果を発表する機会の充実をはかります。

生涯学習に係る施設の見直しについては、「公共施設等総合管理計画」との整合をはかりつつ、検討します。

施策目標1-1

生涯学習に関する情報収集と発信

生涯学習をすすめる上で必要な最新の情報をいつでも入手できるような情報提供の仕組みを構築します。

現状分析	・「過去1年間の生涯学習活動の実施状況」では、『生涯学習活動・余暇活動を行っていない』（37.3%）との回答が平成28年度（27.9%）と比べると増えており、市民が生涯学習に取り組んでいない割合が多くなっています。 ・「生涯学習活動・余暇活動を行っていない理由」は、『必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない』（8.1%）となっています。 ・「活動をしていく上で市に望むこと」では、『活動場所の提供』（71.6%）、『成果の発表の場の提供』（36.4%）といった活動場所などの回答が多くなっています。
意見	「サークル活動、イベント情報が分からない」（市民アンケート） 「LINEに情報が届くようにしてほしい」（市民アンケート） 「広く周知できるよう広報活動していただきたい」（市民アンケート） 「時間や日にちが合わないことが多いので、動画を作ったりしてほしい」（市民アンケート）
方今向後の性	必要な情報が入手できない市民や活動のきっかけがつかめない市民のために相談窓口を設けました。また、民間団体からも生涯学習に関する情報を収集し、発信に努めます。

「重点」はすでに実施している事業のうち、重点的に取り組む事業
「既存」はすでに実施している事業をそれぞれ示します。

事業名	内容	所管	備考
相談体制の充実	生涯学習に関する相談窓口や地域における生涯学習事業への支援、活動の情報などの提供やホームページの更新	社会教育課	新規
図書館資料の収集・提供	利用者の多様なニーズに応えるための資料の収集・提供	図書館	既存
図書館情報ネットワークシステムの充実	図書館情報ネットワークシステムの充実	図書館	既存
図書館利用窓口の充実	図書館（室）・移動図書館の効率的、効果的な運営	図書館	既存
市民活動ネットワーク「わいわいネット※」の運営支援	市、市民活動団体、NPO※法人などの団体間の情報交換の場づくり及び協働に向けた取り組みの促進	地域振興課	既存
コミュチカへの移管支援	市民活動団体に関する情報を、より広域的に発信できる市民活動情報サイト「コミュチカ」に移管することで活動紹介の機会提供を行う	地域振興課	既存

施策目標 1-2

市民ニーズやライフステージに応じた学習機会の提供

全ての市民が生涯を通じて学習に取り組むことができるよう、市民の一人ひとりのニーズやライフステージに応じた学習機会を提供します。

現状分析	「生涯学習を行っていない理由」では、『仕事が忙しくて時間が確保できない』（20.8%）となっています。 「地域・ボランティア・老人クラブ活動などに参加しない理由」では『知らない』（26.0%）との回答が最も多くなっています。 「おうち時間」を活かすために生涯学習活動や余暇活動に参加する場合、パソコンや携帯（スマホ含む）などで教室内容の動画配信では、『参加したい』（21.2%）となっています。
主な意見	「参加したい活動があってもウィークデーが多く時間的に参加が困難」（市民アンケート） 「参加したいと思っても時間や日にちが合わないことが多い」（市民アンケート） 「スポーツ活動の日程が平日ばかりなので土日なども行ってほしい」（市民アンケート）
今後の方向性	乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた学習機会を充実するために、各期の学習内容の充実はもちろんのこと、学習の時間帯や場所など、それぞれの状況に配慮した学習機会の提供をはかります。

事業名	内容	所管	備考
スポーツ教室の運営	スポーツ教室の実施（重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT活用等）をめざす	社会教育課	重点
文化教室の運営	文化教室及び生涯学習講座の実施（重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT活用等）をめざす	社会教育課	重点

事業名	内容	所管	備考
まちの図書館化事業	市内施設等に図書館のリサイクル本を置く	図書館	既存
シルバー人材センター事業支援	高齢者の労働意欲と能力の活用、生きがいの充実、社会参加の促進事業の支援	高齢介護課	既存
老人クラブ活動支援	老人クラブの発展と高齢者福祉の活動の支援	高齢介護課	既存
自発的活動支援事業	障がいがある人の社会的障壁を除去・軽減するための地域における自発的な取り組みに対する支援	障がい福祉課	既存
創業支援事業	地域の創業支援機関と連携し、創業希望者を支援	地域振興課	既存
就労支援事業	就労支援相談員によるきめ細かな相談、就労支援セミナーの開催	生活福祉課 人権とくらしの相談課	既存

施策目標 1-3

学びの成果を活かせる仕組みづくり

生涯学習活動により身に付けた知識や技能を発表できる場を設けます。

分現 析状	「生涯学習で身に付けた知識・技能の活かし方」では、『自分の人生がより豊かになっている』、『自分の健康を維持・増進している』との回答がそれぞれ4割を超えており、自身の人生や健康の維持・増進を目的に生涯学習に取り組んでいる人が多いことがうかがえます。
意主 見な	「気軽に活動への参加できる場所がほしい」（市民アンケート）
方今 向後 性の	市民一人ひとりが学んで身に付けた成果を、教え合ったり、支え合ったりする活動や、地域活動・ボランティア活動などに活かし、学びの循環を生むことができるよう、その仕組みづくりに取り組みます。

事業名	内容	所管	備考
文化祭の開催 (生涯学習フェスティバル)	「未来につなごう交野の文化」を継続テーマとし、多くの市民に交野の文化芸術活動の継承をはかる (重点) 若者や現役世代が参加しやすいフェスティバルをめざす	社会教育課	重点
市民スポーツデーの開催	秋季に市内で各種スポーツに親しむ機会を提供 (重点) 子どもから高齢者までの幅広い市民が参加しやすい実施形態をめざす	社会教育課	重点
健康福祉フェスティバル	交野市内の健康・福祉増進のため関係団体などが展示などを実施	健康増進課 福祉総務課	既存
かたの環境フェスタ	交野市内の環境保全に資する関係団体などで行う環境啓発活動	環境衛生課	既存
老人福祉大会の開催	星友クラブ連合会との共催で開催	高齢介護課	既存

施策目標 1-4

生涯学習関連施設の活用と整備

生涯学習に係る施設の活用と整備については、現状での環境整備とともに、将来に向けた公共施設の集約や複合化について位置付ける「公共施設等総合管理計画」及び学校規模の適正化の中で検討します。

現状分析	- 生涯学習の拠点施設である青年の家の老朽化がすすんでいます。 - 図書館の整備計画は凍結されています。 - 学校施設の老朽化がすすんでいます。
意見	「無料で使用できる施設がほしい」（市民アンケート） 「エレベーター、空調機、備品の保管場所、音楽ホール」（団体アンケート）
今後の方向性	文化・スポーツ施設の整備については、老朽化や環境整備（エレベーター設置など）への対応、多様化する市民ニーズへの対応、青少年の活動の場としての対応などの課題があります。将来に向けては、市民のニーズを適宜把握し、学習機会や情報提供の充実をはかり、施設の利用促進をはかります。生涯学習施設の活用に向けた取り組みについては、人口減少と財政的な制約のもと、現状施設の環境整備とともに市民の利便性を考慮しながら、施設の集約とともに複合化やコンパクトシティに適した施設整備を検討します。 図書館・室については、他の公共施設との複合化及びインターネットなどの多様なサービス提供方法による効率的な再配置とともに、図書館サービスの地域間における公平性を考慮しつつ施設の配置をめざします。 また、図書館運営については、子ども読書活動推進計画や学校図書館との連携はもとより、社会情勢や市民ニーズを把握し、地域の生涯学習の拠点施設として「市民が利用しやすく、利用したくなる図書館・室運営」をめざします。

事業名	内容	所管	備考
文化・スポーツ施設の充実	青年の家、総合体育施設、星田西体育施設、星の里いわふね、私部・倉治公園グラウンド、教育文化会館の運営	社会教育課	既存
図書館・図書室の運営	倉治図書館、青年の家図書室、星田会館図書室、第1児童センター図書室、移動図書館の運営	図書館	既存
学校規模の適正化	少子化や学校の老朽化への対応は、公共施設の再配置と合わせて学校規模の適正化をはかる	まなび舎整備課	新規
公共施設等総合管理計画	公共施設の老朽化への対応や人口減少から、コンパクトシティを標榜した再配置の計画	財産管理課	新規
拠点施設の整備充実（福祉）	世代間交流センター、ボランティアセンター、高齢者生きがい創造センターの管理・運営	福祉総務課 高齢介護課	既存

基本方針2

情（こころ）を育み、確かな学びの実感



市民が、福祉、人権、環境問題などの現代社会の多様な課題を知り、身近な暮らしと結び付け、主体的に課題解決ができるよう、課題に即した学習機会や情報提供を行います。

多様な文化や異なる価値観を認め合い、共に生き、学んでいる確かな実感を高める施策、例えばグローバルコミュニケーションの学習やボランティア活動を推進します。

施策目標2-1

人間の尊厳と共生に向けた啓発と学習

人権に関する啓発や学習機会の提供を通じ、市民の誰もが学べる環境づくりに取り組むことで、人権を尊重する意識の醸成や態度の向上をはかります。

現状分析	・特に関心のある地域課題のうち、『障がい者の生活支援及び共生』（11.5%）、『外国人市民との交流と理解』（6.5%）、『性的少数者の理解』（3.1%）など、共生社会に関するテーマへの関心を持つとの回答は相対的に少なくなっています。
意見	「知的障がいがあっても参加できる活動を周知してほしい」（市民アンケート） 「社会的弱い立場である子どもや高齢者が安心して暮らせるような街づくり」（市民アンケート）
方向性	女性、子ども、障がいのある人、高齢者、外国人、性的少数者などを含む多様な人々の人権に関する学習機会の充実をはかります。また障がいのある人との交流や国際交流などの事業を充実し、他者とのふれ合いの中で多様な価値観を認め合う意識の醸成をはかります。

事業名	内容	所管	備考
日本語教室「学びの場」の開催	外国人などの日本語学習を必要とする人々に対する学習機会の提供（重点）HPの充実などにより、教室の認知度の向上をはかる	社会教育課	重点
障がい者団体の活動支援	障がい者などの日常生活と社会参加を支援する	障がい福祉課	既存
理解促進研修・啓発事業	障がい者などに対する理解を深める	障がい福祉課	既存
国際交流事業	カナダのコリングウッド市との交流や市民の国際感覚を高める活動	地域振興課	既存
人権啓発活動	人権に係る団体への支援	人権とくらしの相談課	既存
平和と人権を守る都市への取り組み	「平和と人権を守る都市宣言」を進める実行委員会への支援	人権とくらしの相談課	既存

施策目標2-2

暮らしの安全・安心を守る学習機会の充実

安全・安心に暮らせるように、啓発や学習機会の提供を通じて、市民の防災・防犯・交通及び消費者トラブルなどの意識の向上をはかるとともに、市民の主体的な活動を支援します。

現状分析	・特に関心のある地域課題として、『要介護・要支援高齢者の生活支援』（34.2%）、『まちの防災・防犯』（27.9%）、『環境やゴミ問題』（26.8%）の順で多くなっています。
主見	「自然災害など有事の際に近所の高齢者などに声を掛け合い、助け合うなどのコミュニケーションの充実や仕組みの整備」（市民アンケート）
方今向後性の	市民が安全・安心な生活を送るため、防災・防犯や交通安全などの学習機会の充実をはかります。また高度情報化社会の進展などに伴う、インターネット上の詐欺や消費者問題などの新たな課題に対する啓発や学習機会を提供します。

事業名	内容	所管	備考
避難行動要支援者※支援事業	地域における要支援者支援体制の構築	福祉総務課	既存
消費生活情報提供	消費生活情報の提供及び啓発活動	人権とくらしの相談課	既存
消費者団体活動の支援	消費者団体の自主的な活動の促進	人権とくらしの相談課	既存
市防災計画の推進	地域防災計画及び国民保護計画の総合的・計画的な推進	危機管理室	既存
交通安全意識の普及、啓発	各種交通安全教室や運動などの事業の実施	危機管理室	既存
防犯活動事業補助及び意識啓発	関係団体の事業費を補助並びに防犯教室及び各種防犯運動などの事業実施により防犯意識啓発と地域防犯活動の活性化をはかる	危機管理室	既存



施策目標2—3

地域活動・ボランティア活動の促進

地域活動・ボランティア活動の活性化に向け、市民参加のきっかけづくりを行うとともに、担い手の確保に向けた情報提供・PRなど、地域活動・ボランティア活動団体への支援を行います。

現状分析	- 生涯学習で身に付けた知識・技能を「地域や社会での活動に活かしたい」市民は15.7%にとどまっています。 - 地域・ボランティア・老人クラブ活動などへの不参加の理由で、「関心や興味が無い」(19.8%)との回答が、平成28年調査(20.5%)と比べ減少しています。
意見	「30代、40代が参加したいと思える活動がないように感じている」(市民アンケート) 「仲良しグループばかりの会へはハードルが高くなかなか参加できない」(市民アンケート) 「ご機嫌さん運動の強化により市民間の仲良し化」(市民アンケート) 「地域のふれあいボランティア活動に参加する人が年々減少している」(市民アンケート) 「コロナ禍で今までできていたボランティアができなくなり、できる時が来るのを待ち遠しく思っている」(市民アンケート)
方今向後性の	社会や地域のニーズに応じた学習機会を提供し、地域活動・ボランティア活動への参加のきっかけづくりを行います。さらに地域・ボランティア活動などに取り組む市民を増やすため、市民活動団体などの活動に関する情報提供・PRを行います。

事業名	内容	所管	備考
コミュニティ・スクールの推進	コーディネート機能の強化や幅広い層の地域住民の参画など、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取組み(重点) 充実したコーディネート機能をもつ地域学校協働本部をめざすと共にコミュニティ・スクールについて、中学校区に設置をめざす	社会教育課 指導課	重点
地域学校協働活動		社会教育課	
図書ボランティアとの協働	図書館におけるボランティア活動を支援し、連携・協働をはかる	図書館	既存
小地域ネットワーク活動※	地域を単位とした住民主体の地域福祉活動	福祉総務課	既存
あいさつ運動	日頃の挨拶などを通じて、地域において顔が見える関係をつくり、住民同士、身近なつながりを深める	福祉総務課	既存
自治組織の充実	地域コミュニティ活動の活性化とその連携・ネットワーク化の推進及び活動の支援	地域振興課	既存
モノシェアリング制度	市が所有している備品や公用車を市民活動団体に貸し出し、ボランティア活動への支援を行う	地域振興課	既存

基本方針 3

誰もが集い、地域のみんなで子どもたちを支える学校の実現



市民の生涯学習やスポーツを通じた人や地域とのつながり、仲間づくりを促進します。

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、連携・協力を求め、一体となって子どもたちを育む仕組みづくりをすすめます。

地域における様々な人々の協力を得て、学校を核としながら、共に学び合い、共に高め合う新たなコミュニティの形成をはかります。

施策目標 3-1

学校・家庭・地域の交流とネットワークづくり

学校や家庭、地域などにおける交流機会や情報交換の場づくりなどのネットワークを構築します。

分現 析状	・子どもたちの地域参加が有意義であるとする回答は、58.8%（「参加させたい」と「どちらかといえばそう思う」の合計）となっていますが、「参加させたい」という積極的な回答だけをみると、全国調査（76.3%）に比べ、今回調査（20.0%）は大幅に少なくなっています。
意主 見な	「コロナが落ち着いたら子どもだけの参加ボランティアや職業体験などをさせてみたい」（市民アンケート）
方今 向後 性の	学校や家庭、地域などとの連携・協働による取り組みをすすめるため、交流機会や情報交換の場づくりを行い、地域で子どもたちを育む意識を高めます。 特に地域と学校との連携・協働については、登下校の見守り、授業補助など、学校を支援する「学校支援地域本部※」によって運営されていますが、今後コーディネート機能などを一層充実させた「地域学校協働本部」の設置を見据え、体制整備をはかります。

事業名	内容	所管	備考
家庭教育の充実	保護者を対象とした家庭教育学級などの親学習講座（重点）小中学生を対象とした親学習講座の実施	社会教育課	重点
コミュニティ・スクールの推進【再掲】	コーディネート機能の強化や幅広い層の地域住民の参画など、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取り組み（重点）充実したコーディネート機能をもつ地域学校協働本部をめざすと共にコミュニティ・スクールについて、中学校区に設置をめざす	社会教育課 指導課	重点
地域学校協働活動【再掲】		社会教育課	
乳幼児健康教育・相談事業	月齢に対応した教室や相談会を開催	健康増進課	既存
わくわく子育て教室	未就学児を持つ子育て中の保護者を対象に、子育てに関する知識や体験学習を通じて、楽しく学べる場として開催し、同時に地域で一層親しまれる市立認定こども園を目指す	こども園課	既存
児童と家庭への支援の充実	育児不安などを抱えている家庭への訪問支援など	子育て支援課	既存
子育てサークル、ネットワーク事業	地域の子育て支援活動を支援	子育て支援課	既存

施策目標3-2

地域における異年齢間の交流促進

地域が一体となって子どもたちを育むことができるよう、地域コミュニティの再形成に向け、子どもから高齢者までの世代間の積極的な交流促進をはかります。

分現 析状	・特に関心のある地域課題として、『要介護・要支援高齢者の生活支援』（34.2%）、『まちの防災・防犯』（27.9%）、『環境やゴミ問題』（26.8%）、『地域のまちづくり』（22.4%）、『住民同士の助け合いや地域交流』（20.0%）の順で回答が多くなっています。
意主 見な	「コロナ禍での災害で一人一人が孤独に陥ることがないような環境を整えてほしい」（市民アンケート） 「子育て支援につながる機会の充実」（市民アンケート） 「幼児などを対象とした屋外交流の場の創出」（市民アンケート）
方今 向後 性の	地域における学習活動やスポーツ活動を通じて、就労者や育児中の人、高齢者や障がいのある人など、誰もが参加しやすい交流機会の充実をはかります。

事業名	内容	所管	備考
地域子育て支援拠点事業等	子育て親子交流・相談・情報提供、助言など	子育て支援課	既存
「アリス」の部屋の開放	ボランティアセンターの協力を得て、0～3歳児の子どもと保護者に部屋と園庭を開放	児童発達支援センター	既存
小地域ネットワーク活動【再掲】	地域を単位とした住民主体の地域福祉活動	福祉総務課	既存
移住・定住促進事業	三世帯同居・近居に係る補助事業事務	都市計画課	既存

施策目標3-3

学校を中心とした地域人材の発掘・育成と活用の促進

学校教育や家庭教育などの場において、地域人材の積極的な活用を促進し、子どもたちを取り巻く教育環境の充実をはかります。

分現 析状	・学校支援活動への参加経験・意思について、『参加したことがあり、今後も参加したい』（6.8%）との回答が全国調査（24.0%）に比べ大幅に少なくなっています。
意主 見な	「子どもの見守り隊などできることは取り組んでいきたいと思うが、詳細が分からないため一歩が踏み出せない」（市民アンケート）
方今 向後 性の	学校におけるキャリア教育※や環境教育などの授業において、講師として地域人材を積極的に活用していきます。学校支援活動をはじめ、部活動や放課後の子どもの居場所づくり、土日の教育活動、家庭教育支援活動などにおいて、地域人材の力が必要とされていることを周知し、市民への啓発を行っていきます。

事業名	内容	所管	備考
コミュニティ・スクールの推進【再掲】	コーディネート機能の強化や幅広い層の地域住民の参画など、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取組み（重点）充実したコーディネート機能をもつ地域学校協働本部をめざすと共にコミュニティ・スクールについて、中学校区に設置をめざす	社会教育課 指導課	重点
地域学校協働活動【再掲】		社会教育課	
子ども安全見守り	子どもを犯罪やいたずらから守る活動 青色防犯パトロール、こども110番	青少年育成課	既存
放課後子ども教室 推進事業	放課後の児童の居場所づくり 市内10小学校を対象に開催	青少年育成課	既存
相談・指導体制の充実	青少年に関する情報交換及び体制の充実 青少年指導員や子ども会育成連絡協議会など	青少年育成課	既存
放課後児童会	保護者が労働などにより昼間保護者の保護を受けられない児童を対象に、その安全を確保し適切な遊びと生活の場を提供	青少年育成課	既存

施策目標3-4

子ども・青少年の「生きる力」を育てる場づくり

地域における体験活動や交流機会などへの子ども・青少年の参加促進を通じて、豊かな人間性や健全な心身の育成など「生きる力」を養います。

現状分析	・地域におけるさまざまな活動参加で、子どもたちが体験活動や交流機会などへ参加してほしい内容としては、「イベント」（29.0%）、「ボランティア」（24.5%）となっています。
意見	「今の子どもたちが大人になっても楽しめる祭り」（市民アンケート） 「子どもたち中心で世代間を超えたイベントや活動を期待している」（市民アンケート）
今後の方向性	子どもたちの地域における体験学習機会の促進と積極的な情報発信により、機会の創出に努めます。一定の役割（育成）が果たせた事業については自主、自立を促し後方支援を行います。また、生涯学習推進部が所管する施設とその管理者にあたる指定管理者の連携により、柔軟に場を提供します。

事業名	内容	所管	備考
文化祭の開催【再掲】 （生涯学習フェスティバル）	「未来につなごう交野の文化」を継続テーマとし、多くの市民に交野の文化芸術活動の継承をはかる（重点）若者や現役世代が参加しやすいフェスティバルをめざす	社会教育課	重点
市民スポーツデーの開催【再掲】	秋季に市内で各種スポーツに親しむ機会を提供（重点）子どもから高齢者までの幅広い市民が参加しやすい実施形態をめざす	社会教育課	重点
スポーツ教室の運営【再掲】	スポーツ教室の実施（重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT活用等）をめざす	社会教育課	重点
文化教室の運営【再掲】	文化教室及び生涯学習講座の実施（重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT活用等）をめざす	社会教育課	重点

事業名	内容	所管	備考
成人式	新成人の門出を祝うとともに、社会的な自立と自覚を促す	青少年育成課	既存
青少年活動の充実	団体活動を通じて、青少年の豊かな情操を育成するために事業の実施 中学生理科セミナー、少年少女発明クラブ、子どもプラン、青少年音楽団体（吹奏楽、合唱、チアリーダーング）	青少年育成課	既存
第1児童センター管理運営	子どもに健全な遊び（運動を主とする）を通じて児童の体力増進と豊かな情操を育成	青少年育成課	既存
子どもの読書活動の推進	子どもと読書を結びつける機会を提供 学校図書館を支援、ブックスタート※など	図書館	既存
思春期における健康教育	小中学校において、命や性など講座を学校と連携し開催	健康増進課	既存

基本方針4

自然と歴史を通じたまちの発見



交野の自然や歴史文化に親しむことで、やすらぎや感動を得るとともに、「ふるさと交野」への誇りと愛着を育むことができるよう、交野の自然や歴史文化を活用した魅力ある学習の機会や情報提供を行います。

施策目標4-1

交野の自然保護と活用

交野の豊かな自然環境を保護するための活動主体の充実をはじめ、自然環境保護活動に関する情報提供や学習機会を充実し、交野の自然を活かしたまちの活性化をはかります。

現状分析	・交野市の将来像について、『自然を守り、環境の良い、住みやすいまち』（83.0%）との回答が最も多く、平成28年調査（63.4%）と同様に高い割合を維持しています。
意見	「豊かな自然の魅力を他市のまちからくる人々に感じ、体感してもらいたい」（市民アンケート） 「地域の課題など難しいとは思うが、気軽に学べる環境は大人にも子どもにも必要だと感じる」（市民アンケート）
今後の方向性	交野が持つ自然環境の保護はもちろんのこと、交野の自然と深く結びついた歴史文化を活用したまちの活性化をはかります。また、自然保護活動に関する情報提供や学習機会を充実します。

事業名	内容	所管	備考
自然と融合した歴史文化の保護	交野を代表する自然と融合した文化財や周知環境の保護（交野市文化財保存活用地域計画）	社会教育課	既存
自然環境の保全	生物多様性を意識した保全活動と公共性を有するエリアの危険木伐採による安全確保と里山保全ボランティアの育成支援	環境衛生課	既存
交野市環境マネジメントシステムの推進	低炭素社会の実現に向けた、庁内における環境負荷低減の推進	環境衛生課	既存
交野市環境基本計画の推進	市民・事業者・行政が協働し、地球温暖化による影響の可能性について危機意識を共有するとともに行動変容を推進する	環境衛生課	既存
ごみ減量化・リサイクル推進に係る市民活動の支援	ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上や良好な生活環境づくりの協議・実践	環境総務課	既存
リバーフェニックス事業	流域の地域を巻き込んだ天野川や支川の清掃活動	環境事業課	既存
農とのふれあい機会の提供等	農とのふれあいツアー、農業まつりの開催支援など	農政課	既存
かたのツーリズム	交野山などの自然環境にふれる様々な夜景と夜空を観覧。出会いの場などをつくる	地域振興課	既存
緑とリサイクル事業	剪定枝・伐採樹木の堆肥化	道路河川課	既存
市民参加による緑化事業の推進	美化緑化推進団体支援	緑地公園課	既存

施策目標4-2

交野の歴史文化の発見と発信

交野の歴史文化について、市の内外に発信するとともに、市民自身が魅力を再発見し、交野への愛着・誇りを育むことができる学習機会を提供します。

分現 析状	・交野市の将来像について、『スポーツ、文化、レクリエーション活動のさかんなまち』（24.5%）との回答が少なくなっています。
意主 見な	「歴史ある街をもっとPRすべき」（市民アンケート） 「七タイイベントなどをやり交野市以外の人に来てもらう機会を増やす」（市民アンケート）
方今 向後 性の	市民が交野の歴史文化の魅力を再発見し、理解・関心、誇りを育むことができる学習機会の充実をはかります。また、交野の歴史文化の魅力を市内外に発信します。

事業名	内容	所管	備考
文化財の普及・啓発	歴史民俗資料展示室の公開や小学校への学習支援	社会教育課	既存
埋蔵文化財発掘調査の実施	埋蔵文化財を保護するため発掘調査及び研究の実施	社会教育課	既存
七タのふるさと振興	まちの誇れるシンボル「七タ」などを通して、交野を発信するまちづくりの実施	地域振興課	既存

施策目標4-3

交野の文化財・伝統文化の継承

文化財の公開や学習機会の提供を通じて、交野の文化財や伝統文化について、市民の理解・関心を育み、それらの継承につないでいきます。

現状分析	・特に関心のある地域課題のうち、『伝統と歴史を大切にするまち』との回答は27.7%となっています。
主見	「地域の歴史を含めた地域の魅力をもっと知りたい」（市民アンケート）
方今向後性の	市の特色ある交野の文化財・伝統文化を次世代に継承していくため、一般公開や学習機会の提供を通じて、市民の文化財保護についての理解・関心を育みます。また交野の歴史を残す町並みなど、景観整備をはかります。

事業名	内容	所管	備考
文化財保存活動	交野の文化財・伝統文化の次世代への継承 そのための調査研究を行い、成果を講座などにより市民に報告	社会教育課	重点
文化遺産の適切な維持保全	指定文化財の適切な維持管理の実施や文化遺産の一般公開の実施	社会教育課	既存
景観まちづくり	良好な文化的な景観を残したまちづくりのための取り組み	都市計画課	既存



基本方針 5

生涯を通じた文化の振興



市民が文化芸術に触れ、親しむことができる機会や情報の提供を行います。

市民が、主体的に文化芸術活動に取り組むことができるよう、活動を支援するボランティアや活動を牽引するリーダーの発掘、育成などの支援を行います。

施策目標 5-1

生涯を通じた文化活動の促進

市民が、主体的に生涯を通じて文化芸術に親しむことができるよう、学習の場や情報提供の拡充をはかります。特に、青少年が文化活動に親しむことができる環境の整備を行います。

現状分析

- ・市民の学習活動と今後の学習内容については、『文化活動』、『教養的なもの』との回答が少なくなっています。
- ・文化団体の会員の高齢化がすすみ、新たな会員の確保も難しくなっています。

意見

「気軽に文化活動ができる、参加できる場所がほしい」（市民アンケート）

方今
向後
性の

市民、とりわけ青少年の文化活動の活性化をはかるために、個人の学習ニーズを踏まえ、既存事業を見直し、学習とその成果発表の場を充実させ、情報提供のあり方を工夫します。

事業名	内容	所管	備考
文化祭の開催【再掲】 （生涯学習フェスティバル）	「未来につなごう交野の文化」を継続テーマとし、多くの市民に交野の文化芸術活動の継承をはかる （重点）若者や現役世代が参加しやすいフェスティバルをめざす	社 会 教 育 課	重点
文化教室の運営【再掲】	文化教室及び生涯学習講座の実施 （重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT 活用等）をめざす	社 会 教 育 課	重点
社会教育関係団体との連携	文化連盟、PTA などと連携し、社会教育関係事業の充実をはかる	社 会 教 育 課	既存
生涯学習機会の充実	生涯学習大学セミナーの開催・おおさからみんなネットなどの共催及び指定管理者の自主事業	社 会 教 育 課	既存

施策目標5-2

文化芸術に触れ、親しむ機会の提供

文化芸術活動の成果の発表や公開を通して、市民が文化芸術に触れ、親しめる機会の充実をはかります。

現状分析

・地域・ボランティア・老人クラブなどへの参加経験は、「自治会・町内会(34.5%)」「音楽・読書・園芸・陶芸などの文化サークル」(13.1%)の順に多くなっています。

意見

「子どもたちが何か学べる催し、支援があるといいと思う」(市民アンケート)

方今
向後
性の

文化芸術活動の成果を日常的に発表・公開できる機会を提供し、市民の活動意欲の向上をはかり、生涯を通じて文化芸術に触れ、親しむ機会の充実をはかります。

事業名	内容	所管	備考
文化祭の開催【再掲】 (生涯学習フェスティバル)	「未来につなごう交野の文化」を継続テーマとし、多くの市民に交野の文化芸術活動の継承をはかる (重点) 若者や現役世代が参加しやすいフェスティバルをめざす	社会教育課	重点



基本方針 6

生涯を通じたスポーツの振興



市民が心も体も健康で豊かな暮らしを送ることができるよう生涯スポーツの機会や情報提供を行います。

市民の健康づくりに関するテーマの学習機会の充実をはかります。

市民のスポーツ活動のための場所や設備・備品などを支援します。

施策目標 6-1

生涯を通じたスポーツ活動の促進

より多くの人に参加できる機会や場づくりを積極的に行い、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。

現状分析	- 総合体育施設（いきいきランド）は、団体・個人スポーツを問わず、球技、水泳、フィットネスなど、市民スポーツの振興に貢献しています。 - 屋内・屋外ともに強く、個人活動へのニーズが顕著になっています。 - 団体活動への参加者は、減少しています。
意見	「年齢を問わず活動できる場の確保が必要」（市民アンケート）
方向性の	活動場所、内容、年齢、実施形態などを工夫し、効果的な情報提供を行うことで、多くの市民が参加できる場づくりや、多様な市民ニーズに対応しながら、市民の生涯を通じたスポーツ活動を促進します。

事業名	内容	所管	備考
市民スポーツデーの開催【再掲】	秋季に市内で各種スポーツに親しむ機会を提供（重点）子どもから高齢者までの幅広い市民が参加しやすい実施形態をめざす	社会教育課	重点
スポーツ教室の運営【再掲】	スポーツ教室の実施（重点）若者や現役世代が参加しやすい実施形態（ICT活用等）をめざす	社会教育課	重点
スポーツ・文化施設の充実	総合体育施設、星田西体育施設、星の里いわふね、私部・倉治公園グラウンドなどの運営（重点）各施設の市民の個人利用を促進	社会教育課	重点
学校体育施設の開放事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を目的とした小中学校の体育施設の開放	社会教育課	既存
スポーツ活動の支援	北河内や大阪府の総合体育大会の運営、市長杯などの各種スポーツ大会及び交野マラソンの活動支援	社会教育課	既存
大阪府障がい者スポーツ大会 京阪ブロックレクリエーション大会	障がい者一人ひとりの競技力の向上とスポーツの普及、裾野の拡大・交流をめざす	障がい福祉課	既存

施策目標 6-2

健康寿命の延伸に向けたスポーツと健康教育

市民一人ひとりが心も体も健康で豊かな暮らしを送ることができるよう、健康づくりに関するテーマの学習機会や交流機会をはかります。

現状分析	・「スポーツに取り組む理由」では、『楽しみ・気分転換』（31.7%）、『運動不足の解消』（24.5%）が多くなっています。 ・スポーツサークルなどに参加できないのかについてみると、若年層は興味や関心が低く、現役世代は時間の確保に、高齢層は体力面に課題があるとの傾向がみられます。
意見	「交野は自然が豊かなのでハイキングなどの催しが楽しみ」（市民アンケート） 「年寄りでも気軽に楽しめるスポーツなり文化行事をしてほしい」（市民アンケート）
今後の方向性	競技スポーツのみならず、健康を目的としたスポーツに市民が関心を持ち、取り組めるよう、各世代のニーズや課題を考慮した事業を検討します。また、健康教育の講座などを通じて、交流機会の充実をはかります。

事業名	内容	所管	備考
高齢者のライフステージとスポーツ	高齢者向けに新たなスポーツ教室の実施 ニュースポーツ*教室、ノルディックウォーキング*など	社会教育課	重点
子どもの体力向上プログラム	遊びを取り入れながら子どもの体力向上を目的としたプログラムの実施	社会教育課	重点
健康教育	健康に関する教室・講座の開催	健康増進課	既存
健康福祉に関する啓発事業	健康福祉フェスティバルの開催	健康増進課 福祉総務課	既存
健康ポイント制度* 大阪健活マイレージアスマイル	大阪府が提供する健康づくりをサポートするアプリを用いて日々の健康活動を記録し健康づくりを推進	健康増進課	既存
地域の健康づくり	身近な地域での元気アップ事業の実施による、介護予防の視点に立った健康づくりや地域の見守りネットワークの促進	高齢介護課	既存
保健事業の推進	特定健診受診率の向上 特定保健指導の利用促進	医療保険課	既存

施策目標6-3

地域における生涯スポーツの振興

地域の人々が、それぞれの技術や興味、関心に応じてスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ指導者などのスポーツを支える人材の育成に努めます。

現状分析	・スポーツ・健康分野の団体の「団体の活動の成果の活かし方」では、地域での活動やボランティア活動に活かしている傾向が強くなっています。
主な意見	「地区に応じた実情に合わせ生涯学習内容を推進していただきたい」（市民アンケート）
今後の方向性	多くの市民が気軽にスポーツをはじめのきっかけをつくるために、ニュースポーツなどの気軽なスポーツの指導者の育成に努めます。また、指定管理者や関係団体と連携することで、指導者向けの講習会の実施も検討し、スポーツ指導者の育成もはかります。

事業名	内容	所管	備考
地域スポーツの活性化	市民誰もが、様々なスポーツ・レクリエーションに親しめるように関係機関と連携し、地域におけるスポーツ活動の活性化及び総合型地域スポーツクラブの設立に向けた検討を進めます	社会教育課	新規
関係団体との連携	体育協会やスポーツ関係団体と連携し、各種大会などを実施	社会教育課	既存
スポーツ指導者の養成	スポーツ推進委員を対象に研修や講座を開催し、スポーツ指導者の養成に努める	社会教育課	既存



■交野市生涯学習基本計画推進委員会委員名簿

◎：委員長 ○副委員長 （敬称略、順不同）

区 分	氏 名	所 属
（１）学識経験を有する者	門脇 薫 ◎	摂南大学教授(外国語学科)
（２）生涯学習に関わる関係者	北村 安揮男○	交野市青少年指導員会
	島田 喜次	交野市体育協会
	中 盛夫	交野市文化連盟
（３）公募による市民	蒲田 秀佳	公募市民

4. 交野市文化連盟・交野市体育協会団体リスト

交野市文化連盟団体リスト 発表団体（令和3年度）

	団 体 名	主な活動内容	主な活動場所
1	交野市詩吟研究会（翠川会）	詩歌の詩吟を学び、詩吟大会の出演や施設訪問	青年の家、武道施設 星田山手自治会館など
2	関西吟詩文化協会北摂支部 交南支部	詩吟の崇高なる精神・質実剛健なる 気性を学ぶ	青年の家
3	交野交謡会	能の謡や仕舞について練習や発表会	私部会館、武道施設 青年の家
4	佳彰会（民謡三味線）	三味線（藤本流）演奏と民謡を歌う	武道施設、青年の家
5	寿美典福会（日本舞踊）	花柳流古典舞踊の研修	青年の家 ホーム明星など
6	交野ギター・マンドリンオーケストラ	ギター・マンドリンの練習・合奏会	青年の家
7	交野着物着付同好会 A	着物・浴衣の着付け講習や研修	武道施設
8	和装技術研究会（着物着付け）	着物・浴衣の着付け講習や研修	武道施設、幾野集会所
9	美弥祥会（民謡）	日本民謡の研究・発表	会員宅
10	交野童謡愛唱会	童謡を腹式呼吸式による学習（女性のみ）	青年の家
11	福寿扇会	日本舞踊の稽古・発表会	青年の家
12	東山流交野吟詠会	東山流詩吟の稽古・発表会	武道施設
13	コール・ポコ	女性合唱団で、指導者のもと練習や 発表会	青年の家
14	交野シティフィルハーモニック	交野の音楽文化の向上を目的に交響 曲などの練習や演奏会	青年の家
15	アンサンブルボピー	歌やコーラスを指導者による発声法 などが学ぶ教室	青年の家
16	アンサンブルかたすい	吹奏楽団で、オリジナル曲などの練 習や演奏会	青年の家
17	交野ジャズ・クリエーション	ジャズ愛好者でアマチュアバンド編 成	青年の家
18	宮崎バレエスタジオ	クラシックバレエを愛する仲間が集 い練習や発表会	市内宮崎バレエスタジオ
19	藤が尾カラオケ同好会	カラオケのレッスン及び発表会	藤が尾会館
20	フラ ハラウ luana	フラダンスの習得を目的に練習や発 表会	青年の家
21	アンサンブル・アニマート	ピアノの演奏技術向上目的に練習や 発表会	青年の家
22	N I S I 歌謡教室	カラオケのレッスン及び発表会	青年の家、星田会館
23	あいあいサークル	ダンスのレッスンや発表会	青年の家
24	ヴォーチェアンジェラ	リコーダーのアンサンブルで練習や 演奏会	青年の家
25	すずらん会	ダンス指導者による社交ダンスのレ ッスンなど	青年の家、交野会館

26	エピカ	コーラスのレッスンや発表会	青年の家
27	大正琴合奏サークルアンサンブル桜	大正琴の練習や発表会	青年の家 総合体育施設
28	交野着物着付け同好会B	着物・浴衣の着付け講習や研修	武道施設
29	ママプラス・ティアラ	親子で楽しむ吹奏楽演奏	青年の家
30	♪の森のたんけんたい	教育楽器の合奏	会員宅
31	3B体操会	ボールとベル、ベルターを使用した健康体操	青年の家 星田西体育館
32	大阪市文の里民踊会 天の川教室	地域の盆踊りに参加し民踊団体として社会に貢献	天野が原会館
33	チアダンス ピクシーズ	地域のイベントに出演、チアダンスのスキル向上	青年の家
34	秀丽会 交野教室	民舞	武道施設
35	アンサンブル カタノ	演奏	青年の家

交野市文化連盟団体リスト 展示団体（令和3年度）

	団 体 名	主な活動内容	主な活動場所
1	交野古文化同好会	定期的な歴史健康ウォーク、勉強会による交野の歴史学習	青年の家
2	交野市茶華道協会	会員による生け花展やお茶会の実施による茶華道の普及	青年の家
3	交樹会（水墨画）	月1回の例会による研鑽や、各種展示会への出展による水墨画の研究	武道館
4	交野俳句会	定例での句会や勉強会、句会報の発行による俳句の勉強	青年の家
5	交野洋画同好会	会員各自技術の向上をめざし、個性豊かな作品づくりに取り組み、年4回の展覧会などの実施	青年の家
6	交野市書道同好会	作品発表・鑑賞・指導も行うことで書法の研究	青年の家
7	交野陶芸研究会	展示会への出展や、研修会を実施しながら、美と実用を兼ね備えた陶芸作品を創出	青年の家
8	染花フランボワーズ	植物を観察し、白布の素材を選び、思いの色を染め、コテで表情を描き立体植物作品を制作	青年の家
9	（福祉）豊年福祉会明星	施設の入居者などが様々なクラブ活動を通じ、作品づくりし、日常生活の活性化とリハビリを実現	豊年福祉会「明星」各施設
10	パステル画同好会	パステル画の制作とロビー展での発表、野外での写生、絵画展への参加	青年の家
11	大阪友の会	衣食住に関する勉強会やバザーを通じ、よい家庭からよい社会を創出	青年の家
12	交野水彩画会	テーマごとの写生会や展示会の実施を通じ、「絵を描く喜び」を情操	青年の家
13	かたの写真同好会	屋外での撮影会や写真展を実施し、情操を育む	青年の家
14	表装同好会	掛け軸などの伝統表装から創作表装まで幅広く作品の制作など	青年の家
15	交野ステンドグラス同好会	ステンドグラス作品の制作、展示	青年の家
16	交野男のグルメ同好会	会員が献立から食材購入まで行う料理作り	ゆうゆうセンター
17	交野陶芸協会	陶芸作品の制作から研修をかねて各地の陶芸村を見学	星の里いわふね
18	つまみ絵あかね会	伝統工芸であるつまみ手法の創作や展示	青年の家
19	（福祉）美郷会・・美来	特別養護老人ホームなどの入居者や利用者による作品作り	特別養護老人ホーム「未来」など
20	（福祉）きんもくせい	ケアハウス施設などの入居者や利用者による作品作り	ケアハウス「きんもくせい」
21	デジカメ同好会	カメラを操る技術を学び、各会員が写心を撮る撮影	青年の家
22	手編み同好会	編むことの喜び、学ぶことの楽しさ	青年の家
23	交野市囲碁同好会	囲碁を趣味とし棋力向上	青年の家
24	交野市教職員文化スポーツ交流会	文化・スポーツ活動と親睦・研修の推進	青年の家、総合体育施設
25	とくさ会	伝統的な組紐技術の習得	青年の家

交野市体育協会団体リスト (令和3年度)

	団 体 名	主な活動内容	主な活動場所
1	軟式野球連盟	春季大会、夏季大会、市長杯大会、支部長杯、チャンピオントーナメント	私部公園、いきいきランド 交野高校、倉治公園
2	バレーボール協会	春季市長杯、パナソニック杯、おりひめ杯、審判講習会	市内小学校、いきいきランド 星田西体育施設
3	剣道連盟	定例稽古会、新年稽古会、級審査会、会長杯	市内小学校、武道館
4	バドミントン連盟	総会、北河内・大阪府総合体育大会	いきいきランド
5	サッカー連盟	大阪府知事杯、合宿、交流大会、スポーツ少年団サッカー大会	私部公園、市内小中学校
6	卓球連盟	関西学生リーグ戦、市長杯、定期練習	いきいきランド
7	空手道連盟	近畿大会、大阪府大会、交野大会、昇段・級審査会、合宿・強化練習	武道館、市内小学校、いきいきランド
8	柔道連盟	大阪府大会、三島・北河内地区大会親善試合、合同練習	青年の家
9	ソフトボール協会	交野市長杯、春季リーグ戦、秋季リーグ戦、体育協会会長杯	いきいきランド、私部公園 倉治公園、市内小学校
10	体操連盟	近畿総会、研修会 OSAKA体操フェスティバル	武道館、青年の家
11	硬式野球連盟	関西大会、強化合宿、体験練習会 入部式、卒部式	私部公園、倉治公園
12	大阪合気会交野道場	合宿、合同練習、演武会、定例稽古	青年の家
13	相撲連盟	定例稽古、市長杯わんぱく相撲大会	武道館前相撲場
14	インディアカ協会	市長杯、体育協会会長杯、協会杯 定例練習会	小学校体育館、青年の家 いきいきランド
15	太極拳協会	全日本大会、近畿大会、大阪府大会、 段位検定講習会、指導員認定会	いきいきランド、武道館、 星田西体育施設
16	弓技連盟(弓道部)	理事長杯、交流射会、百射会、納射会 初射会、道場整備	ゆうゆうセンター
	弓技連盟 (アーチェリー部)	総会、合宿、納射会、初射会	交野自立センター多目的広 場
17	グラウンド・ゴルフ協会	月例会、市長杯、大阪府会長杯、 交流大会、指導員研修会	私部公園
18	ラグビーフットボール協会	大阪ラグビーカーニバル、北河内大会、合宿、 関西クラブトップリーグ	市内中学校、いきいきランド
19	バウンドテニス協会	全日本大会、近畿大会、大阪府大会、 交流大会	いきいきランド
20	バスケットボール連盟	チャレンジカップ、サマーカップ、 おっちゃん杯、練習試合	いきいきランド
21	テニス協会	大阪大会、北大阪大会、市長杯、 親睦会、教室	私部公園
22	ソフトテニス連盟	全日本大会、西日本大会、近畿大会 市長杯、合宿	私部公園
23	古武道古傳居合術交野道場	初抜き、奉納演武	青年の家
24	ゴルフ協会	練習、総会	交野カントリークラブ

（２）生涯学習基本構想にあてはめた現在の主な事業（基本目標別）

目標１ 宇宙や地球環境を大切にまもるひとづくり

主な事業（４事業）

- ・交野市環境マネジメントシステムの推進
- ・かたの環境フェスタ
- ・交野市環境基本計画の推進
- ・ごみ減量化・リサイクル推進に係る市民活動の支援

○環境啓発事業において、市全体における環境保全意識の向上をはかっています。また、ごみ減量化・リサイクル推進に係る市民活動との協働のもと、良好な生活環境づくりに対する協議・実践に取り組んでいます。

目標２ 交野の自然を大切にまもるひとづくり

主な事業（５事業）

- ・自然環境の保全
- ・農とのふれあい機会の提供等
- ・緑とリサイクル事業
- ・景観まちづくり
- ・市民参加による緑化事業の推進

○「農とのふれあい機会の提供」などにおいて、自然環境や夜景・夜空、農業などの交野の観光・地域資源を活かした交流機会を提供しています。また、里山ボランティアの育成・活用による里山保全事業や、市民参加による緑化事業の推進など、市民の力を活かした環境保全事業を実施しています。

目標３ 交野の歴史と文化を大切に作るひとづくり

主な事業（６事業）

- ・七夕のふるさと振興
- ・文化財の一般公開
- ・市民文化財講座
- ・河内木綿の機織り教室
- ・教育文化会館活動事業
- ・倉治図書館地域資料コーナー

○伝統産業であった河内木綿の機織り教室や、市内の歴史・文化について講師を招いた講演会を実施するなど、交野の歴史・文化を学ぶ機会を提供しています。
○国登録文化財である教育文化会館では、交野の文化財の展示などを行っていますが、新たな展示解説ボランティアの育成や施設の魅力を十分に活かした活動ができていないなどの課題が出ています。

目標4 おもいやりのあるひとづくり

主な事業（16事業）9

- ・人権啓発活動
- ・平和と人権を守る都市への取り組み
- ・理解促進研修・啓発事業
- ・あいさつ運動
- ・避難行動要支援者支援事業
- ・拠点施設の整備充実
- ・小地域ネットワーク活動
- ・福祉団体との連携と活動支援
- ・児童と家庭への支援の充実
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・わくわく子育て教室
- ・移住・定住促進事業（地方創生）
- ・市民活動団体等情報登録制度
- ・市民活動ルーム「わいわいネット」の運営支援
- ・自治組織の充実
- ・まちづくり委員会※に対する活動支援

○子どもや障がい者などに対する人権への理解促進・啓発事業を実施し、市全体における人権・福祉に対する意識の向上をはかっています。また、「わくわく子育て教室」などにおいて、子育てに関する知識や体験を通じた学びの機会を提供しています。

○市民活動団体ネットワーク「わいわいネット」においては、市民活動団体、ボランティア団体、NPO などや、これから活動したいと考えている市民のつながり・交流の場を提供しています。

目標5 国際社会で貢献できるひとづくり

主な事業（2事業）

- ・国際交流事業
- ・日本語教室「学びの場」の開催

○カナダのコリングウッド市（姉妹都市）との交流事業を実施し、国際交流の機会を通じて、市民全体における国際理解の向上をはかっています。

○外国人などが日本語を学べる機会をつくるために、日本語指導に意欲のある市民の方が中心となって、日本語教室「学びの場」を展開しています。

目標6 心身ともに健康なひとづくり

主な事業（21 事業）

- ・マラソン大会の開催
- ・健康教育・健康福祉に関する啓発事業
- ・子ども会育成連絡協議会事業
- ・子どもプラン
- ・子どもの安全見守り
- ・こども110番
- ・放課後子ども教室
- ・児童センターの運営
- ・スポーツ教室の運営
- ・指定管理者の自主事業
- ・家庭教育学級の開催
- ・乳幼児健康教育・相談事業
- ・思春期における健康教育
- ・保健事業の推進
- ・市民スポーツデーの開催
- ・学校体育館・校庭開放事業
- ・スポーツ施設等の運営
- ・青少年指導員活動事業
- ・体育協会活動支援事業
- ・チアリーディングクラブ

○スポーツ教室の開催や、市民スポーツデー、学校体育館・校庭開放など、スポーツに取り組む機会・場を提供し、子どもから高齢者までのスポーツ振興をはかっています。

○健康・保健に関する学校教育、教室・講座などの学びの機会を提供しています。また、関係団体との連携による「子どもプラン」の実施など、交野の自然資源などを活かした子どもたちの学びの機会を提供しています。また、「家庭教育学級」講座の実施を行っています。



目標7 学びの心をもつひとづくり

主な事業（14 事業）

- ・消費者相談
- ・消費生活情報提供
- ・消費者団体活動の支援
- ・生涯学習大学
- ・文化連盟活動支援事業
- ・文化祭
- ・ジュニア吹奏楽団
- ・少年少女合唱団
- ・中学生理科セミナー
- ・少年少女発明クラブ
- ・図書館・図書室の運営
- ・子どもの読書活動の推進
- ・文化教室等の運営
- ・指定管理者の自主事業

- 摂南大学との包括的連携協定に基づく「生涯学習大学」の実施や文化教室の運営などにより様々な分野の学びの機会を提供しています。また文化祭では、市民の日頃の学びの成果を発表する場の提供を行っています。
- 倉治図書館、青年の家図書室、星田会館図書室、第1児童センター図書室、移動図書館などの地域の図書館では、子どもをはじめ全ての市民の読書活動・環境の充実をはかっています。
- 中学生理科セミナーや少年少女発明クラブなど、子どもたちの自由な発想や創造性を育む学びの機会を提供しています。

目標8 生きがいを自ら求めるひとづくり

主な事業（7 事業）

- ・就労支援事業
- ・ひとり親家庭の自立支援
- ・いきがい活動支援通所事業
- ・シルバー人材センター事業支援
- ・自発的活動支援事業
- ・老人福祉大会の開催
- ・老人クラブ活動支援

- 高齢者や障がい者などの活動支援を行い、生きがいや地域社会での活躍につなげています。また、就労支援を必要とする人への資格取得やスキルアップの支援などの学びの機会を提供しています